

一戦後80年一

『戦争のあったころのことを知ろう』展

垂水市立図書館にて《8月1日～同31日》

(但し、図書館の休館日を除きます)



(昨年の展示より)

展示物

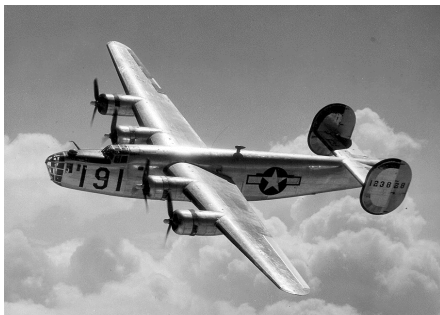
1945年8月5日、垂水は、地方の小都市としては類を見ない大規模で徹底的な空襲により、市街地の8割以上を消失する大きな被害を受けます。垂水空襲の実相を知り、「なぜ垂水がこんな大きな空襲を受けねばならなかったのか。」という疑問にこたえることができるような展示ができるように準備します。戦時中の写真の他、垂水に落とされた焼夷弾、日の丸の寄せ書き、軍服、ゲートル、防空頭巾、千人針なども展示予定です。

《戦争体験を聴く会》

『垂水空襲を語り伝えよう』

とき・・・8月3日(日)13:30～15:00ごろ

ところ・・垂水市民館大ホール



垂水空襲で使われた飛行機

今年は、垂水空襲を体験された方を複数名お招きし、垂水空襲の実相を話していただく予定です。戦後80年をむかえ、体験者の高齢化は進み、貴重な体験談を聞かせていただくことは年々難しくなっています。この機会に戦争を知らない世代や次代をになう若い世代に伝えていくことは、ますます重要です。多くの方々に、とりわけ垂水の子どもたちに聴いてほしいです。

共催 垂水市教育委員会 垂水史談会